

会議録

令和8年1月28日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和7年度第7回定例会
開催日時	令和7年11月19日(水) 午後6時30分 から 午後8時30分 まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：小須田厚子(会長)、松本静(副会長)、澤井稔、小池教之、渡邊耕造、下坂小百合、亀倉康悦、花房敦子、ギログリー江美、鈴木明美、小林大介、坂内夏子、荒井容子 事務局：近藤館長、市川事業係長(柳沢)、根岸分館長(芝久保)、菅野分館長(谷戸)、一之瀬分館長(保谷駅前)、小林事業係主任
欠席者	小林資郷、山本分館長(田無)
議題	<p>1 審議事項</p> <p>(1) 令和7年度第5回定例会会議録(案)について(資料1)</p> <p>(2) 令和7年度第6回定例会会議録(案)について</p> <p>(3) 令和6年度公民館事業評価(案)について</p> <p>2 主催事業について</p> <p>(1) 令和7年度公民館主催事業報告について(資料2)</p> <p>(2) 令和7年度公民館主催事業計画について(資料3)</p> <p>(3) 令和7年度第1回利用者懇談会について(資料4)</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 行政報告</p> <p>(2) 公民館だより編集室報告</p> <p>(3) 令和7年度東京都公民館連絡協議会委員部会</p> <p>(4) 第47回 全国公民館研修集会東京大会</p> <p>4 事務連絡及び情報交換</p> <p>(1) 来年度事業についての意見交換</p> <p>(2) 委員研修について</p> <p>(3) その他</p> <p>(4) 令和7年度第8回定例会の開催について</p>
資料	<p>【配付資料】</p> <p>資料1 令和7年度第5回定例会会議録(案)</p> <p>資料2 令和7年度公民館主催事業報告</p> <p>資料3 令和7年度公民館主催事業計画</p> <p>資料4 令和7年度第1回利用者懇談会</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり(1名) <input type="checkbox"/> なし
会議内容	
<p>1 審議事項</p> <p>(1) 令和7年度第5回定例会会議録(案)について(資料1)</p> <p>●令和7年度第5回定例会会議録(案)について、委員から3ページの18行目の「集まらないなりの授業」ではなく「集まらないなりの事業」との指摘があり、事務局において修正することで承認。</p>	

(2) 令和7年度第6回定例会会議録（案）について

●令和7年度第6回定例会会議録（案）について、各自内容を確認し1週間以内を目途に修正や意見を事務局に連絡する。

(3) 令和6年度公民館事業評価（案）について

事業評価表について、委員からの修正、意見をメールでいただき、事務局にて会長と調整、委員の皆様にも最終案を確認いただいた後、12月または1月の教育委員会で報告する。

2 主催事業について

(1) 令和7年度公民館主催事業報告について（資料2）

○分館長（谷戸）

くらしを彩る講習会飲んで知るハーブティーの魅力（谷戸）について、講座の実施後にサークル化に向けて進んでいるとの報告。

○A委員

くらしを彩る講習会（谷戸）は、目覚め、一息つく、おやすみのハーブティーと分け、それぞれに合ったハーブということで、癒しの講座を提供できたのは有意義であったと思う。

○B委員

担当の考察で、講師が就労に向けて、講師の方もつながるという意味でこういうかたちを考えているのか。公民館事業で、「地域人材の発掘」と「就労支援」という言葉が強いのではと思う。

○C委員

昨年、保谷駅前公民館で開催された講座に参加した際に、本講師も参加していた。そちらでもサークル化していて、ハーブティーを前面に出しているわけではないが、子どもの権利やそういったことをテーマに考える方が集まり活動している。その時に本講師も入ってこられてハーブティーを毎回入れてもらい月1で活動している。本講師ご自身の経験を踏まえ、子ども食堂も実施している。高校生など若い方が何かお手伝いをできればという趣旨で一緒に活動しているサークルであり、そういう絡みで「地域人材の発掘」と「就労支援」という言葉が出てきていると感じている。

○D委員

趣旨がくらしを彩る講習会で、ハーブティーを味わいながら、ゆったりした時間を過ごすサークルはどんなサークルになるのか。保谷駅前公民館の講座で立ち上がったサークルと違うかたちなのか。ハーブティーを飲みながら楽しむのかは自由だと思うが、「就労支援」と書かなくてもいいのではないかと思う。講座の評価としては、皆さんが楽しみ、講師も元気づくのは素晴らしいことだが、「就労支援」と書くと別目的になってしまうので、趣旨と使い分け、派生して出てきたということはいいが、それを目的にやったわけではないので、冷静に評価した文章は確認したほうが良いと思う。

○公民館長

新たな地域人材につながったというところがいいところで、就労支援と切り離れた表現のほうが良いと思う。講師もハーブティーを広げたいということを経験を通じて手ごたえを掴んで、地域でやっていく自信が付いたという意味合いだと思うので、表現は修正したい。

○D委員

「新たな地域人材の発掘」というのもおかしいのではと思う。ハーブティーの文化を広げたいと思いのある方がいて、文化を求めている人もいることが分かり、西東京市の中でハーブティーを楽しみながら人間関係を作っていくような課題と価値を共有でき、それを支えてくれる意欲のある方がいるなどの文章に整理したほうが良いと思う。

○E委員

今回、基本方針が【開かれた公民館】で、基本方針に基づき設定した目的達成のために公民館利用が少ない30代をターゲットとして新たな広がりを作ろうという目的でやったのか。

今回、30代の方はどのくらい参加していたのか。また、その観点で目的は達成できたのか。

○分館長（谷戸）

目的としては生きづらさを抱える若者の居場所づくりを進めている講師とハーブティーを通じて、知らない方たちと屈託のない話ができる居場所づくりとしてつながればという目的があった。30代の方がほとんどで、中学2年生の方と80代の方が1名ずつであった。

○D委員

対象者を30代までの方優先とターゲットを絞って事業展開したことをどう評価するかということが求められる。挑戦的な企画であり、そのあたりのコメントがあるとよいと思う。

○分館長（谷戸）

中学2年生の女子生徒の感想は、事業報告書の参加者の声（5番目）に記載している。80代の方は、手元のアンケートでは特定できないため、コメントができない。

○B委員

くらしを彩る講習会（谷戸）は、ここ3年ほど実施しており、入口はフラットなものにしつつ、普段来ないような方が参加者として集まってきており、つながってきている。ハーブティーで来た方達と講座を仕掛けた担当職員が、前の公民館で関わっていた不登校の方と絡ませたというところがあると思う。ここで両方盛りだくさんの評価を入れているが、この先どうなっていくのか、少し見えてくるともっと整理できるのではないかと思う。

○事業係長

6月提出の事業計画書に、30代を対象に生きづらさを抱える若者の居場所づくりにつなげるという記載がある。担当職員の考察欄には、「アンケートからもこのような場が求められていることを改めて知る機会となった」と書いてあり、狙いどおりの成果をあげられたのではないかと判断している。

○分館長（谷戸）

昨年度のくらしを彩る講座（谷戸）は珈琲の愉しみ方で、美味しいドリップコーヒーの淹れ方と、コーヒー豆について学んだ。その時も30代から60代の多様な方の申し込みがあった。何かを飲んで食べてというような空間を求めているという分野のニーズがあったのではと思われ、今年度もそうだったのではと感じている。

○B委員

皆で同じ空間でお茶を飲んでほっとしたいという講習会のコンセプト自体はいいと思う。

○D委員

昨年度のくらしを彩る講座（谷戸）は、生きづらさなどはなく、今回は角度を付けてやってみてこのようになったと審議会委員は理解しておく、今までなかった特徴や方向性が今回の企画で評価として高かったのではと、受け止める感じかと思う。また、学習内容に「目覚めのハーブティー朝飲むのにちょうど良い、元気が出るハーブティーを楽しむ」と書かれているが、午前中から実施したのか。

○分館長（谷戸）

開催した時間は同じで、その日ごとのテーマとして、朝飲むハーブティー、昼飲むハーブティー、夜飲むハーブティーを取り上げたものである。

○D委員

子ども対象講座こわーいお話を聞く会（ひばりが丘）は、今回、田無第二中学校の美術部に声掛けしなかったのはなぜか。

○事業係長

昨年度は部全体で参加され、人数が多すぎて若干混乱したということもあり、今年度は有志のボランティアを募集したところ田無第二中学校は0人だった。結果的には、創作や運営に意欲のある生徒が集まり実施できたと報告を受けている。

○D委員

田無第二中学校の美術部がゼロというのは、昨年参加された子が来なかったのではと思う。参加しづらいなどの状況はなかったのか。

○F委員

中学生は一度体験してしまうと満足してしまうのかもしれない。

○G委員

上映会我が母の記（ひばりが丘）は、担当者の考察で「意見交換会を予定していたが、できなかった」と記載がある。事業名を上映会とすると観覧だけになるという気もする。実際には介護する年代でない方が8割を占めていたということであり、来場者を年齢で制限していないのは良いと思うが、意見交換会をやるのであればそれを前面に出したほうが良い。上映時間が10時半から2時間で、お昼ご飯を食べに帰ってしまったのではと思う。

○事業係長

まず公民館だよりやチラシで意見交換会をすると広報した。当日は上映前と上映後にそれぞれ意見交換する旨の案内をしてから、5分間の休憩時間を設けたが、その5分間に帰る流れができてしまい、職員2人がかりでも引き留めることができなかった。グループに分かれてから休憩を取るなどの工夫ができたことは反省点として挙げられる。映画のテーマや内容は素晴らしいという評価があるので、広報の仕方や時間、運営の工夫が必要であると感じている。

○H委員

この映画を観に行ったことがある。認知症が進行するつらい内容であるが、とてもいい映画である。認知症について、深く参加者同士で話し合い考えていく場合、この映画をもってくることがベストだったのか。ドキュメンタリー的なものや他の認知症を扱った映画もあったのではないかと。

○G委員

上映会と謳う以上は帰っても構わないと思う。意見交換会が大きな目的であれば、意見交換のための上映会と明確にしてもよいのではないかと。

○B委員

認知症患者の不安を和らげるいこいマップを手に付けるなど交流会のようなかたちの温かい雰囲気でも帰ってもらいたいというのが備考欄を読んで感じた。

○D委員

この上映会（ひばりが丘）は、色々な映画を上映する中の一環であるのか確認したい。

○事業係長

単発の事業である。ひばりが丘の上映会は、テーマを決めて、映画を鑑賞するだけでなく、感想を言い合ったり、製作に関わった人が解説するなど上映会プラスアルファの形でこれまで実施している。

○I委員

担当職員の考察で、「今後は公平に参加者を選定できるように工夫したい」という部分が気になった。公平性とはどういうことか。

○事業係長

先着順で申込多数だったため、申込開始の時間帯に電話を掛けられる人だけが申し込むことができた、という意味での記載である。

○I委員

介護をしている人を優先ということではなく、抽選などの方法も選択できたということが分かった。

(2)令和7年度公民館主催事業計画について（資料3）

○J委員

計画書の中からいくつかピックアップして公民館から説明をお願いしたい。

○事業係長

【共催事業】防災講座2「八方ふさがり冷や汗避難体験」（ひばりが丘）について説明する。有事の際、避難所の設置中や設置後に起こりうる、想定外の事態に対して、どんな動きをすれば良いかなどを体験する事業。今回は避難所運営協議会と連携して実施する。連携について大きな協力をいただいているE委員からコメントをいただきたい。

○E委員

この事業に参加し、避難所開設がこんなに難しいものだと思っていなかった。中原小学校

の避難所運営協議会の会長をやっているが、本当に冷や汗をかくことがあった。当初5人が運営スタッフで40名くらいが避難者として割り振られる。わずか5人で40人を捌くことができない。次から次へいろんな役割が必要となるので、避難所運営協議会のメンバーや地域の方にも経験していただいたほうが良いと思った。避難所運営協議会は、実際に発災したときにお客様気分での避難所に来てわがまま言う人が多かっただろうという不安があった。避難所運営協議会のメンバーや来場者にも、失敗体験をしてうまくいかないという学びができると良いと思う。これを感じることで、自分が避難所に行ったときに「何かできることはありませんか」など、逆に声をかけられるようなきっかけづくりとなればということで、学校とも相談の上やる共同で実施することとなった。実際に避難所を開設するときに作業できる人を将来的に増やしていきたいと考えている。

○事業係長

冷や汗をかくというところで、クレームやわがままを言う人をリアルに再現するために、芝居や朗読のサークルにクレーマー役として参加していただくよう声をかけるところである。

○I委員

避難所運営協議会は各小中学校にそれぞれにあり、運営は父兄の方がやっているのか。

○E委員

地域の方でいろんな方々がいて、校長先生が指名していると思う。各学校で構成員はまちまちである。

○F委員

明保中学校の場合、東小学校が隣にあり、東小学校の避難所運営協議会の会長が以前は、本校の会長も兼ねていた。現在は、卒業した生徒の保護者の方に会長をお願いしている。民生委員の方や地域の商店会の方にも入っていただいている。

○分館長（谷戸）

以前、危機管理課において、避難所運営協議会に参加していた。危機管理課で各小中学校に防災備蓄倉庫を設置していて、避難所を開設するための避難所開設キットが置いてある。それを避難所運営協議会の方々が中心となって開設をしていただくというのが避難所運営協議会である。

○分館長（駅前）

次に、社会問題講座「人生を豊かにする秘訣～孤立しないために～」について、高齢者の独居世帯の孤立、孤独の問題が深刻になっている中で、人生を豊かにし、孤立を防ぐための秘訣のほか実施に至る経緯などについて説明。

○B委員

社会的孤立ということで、高齢者だけでなく色々な形で社会的孤立の問題が出ているので、この講座を注目したい。4回で終わった後、ゆるく関わりを持って終わるが、ゆるくつながり、また会いたくなるように継続する先があるといいのではないかと感じた。

○D委員

防災講座（ひばりが丘）で、事前申込なしで100人程度とあるが、いろいろな人に声をかけて役割を担ってもらい、フリーでふらっと来る人もかなりいるだろうという想定か。

○事業係長

ひばりが丘公民館の周りには、ひばりが丘団地のエリアとマンション群があるエリア、そして戸建てのエリアがある。今回は、戸建てエリアの高齢者の方々を主な対象として、そこにチラシを直接ポスティングして参加を呼びかける予定と聞いている。

○E委員

町内会がないので、どうやって住民にイベントを伝えるかということが課題であり、解決方法がないまままきている。社会福祉協議会に関わる団体の協力もいただき、ポスティングなどで案内する。特に対象とするのは戸建てに住む少し年齢が高めの方を考えている。100名程度というのは、100名から150名に抑えないと運営が難しくなると予想されるため、人数を調整しながらいい感じの失敗体験ができるようなかたちで進められればと思う。

○A委員

今回の防災講座（ひばりが丘）では、非常用簡易トイレや災害用食料品を配布するなどはあるのか。

○分館長（谷戸）

危機管理課では、防災訓練を実施する自治会などから申し出があれば、消費期限が近いアルファ化米をお譲りしている。申し出ただければ、調整が可能かと思う。

○J委員

実際に、いざ発災して避難所を開設することとなった場合に、避難所運営協議会が運営していくのではなく、そこまでの準備段階をし、運営には関わらない。実際に来ていただいて訓練をしてもらうのが一番いいと思う。

○D委員

防災講座身近な防災について、体験を通じて学ぼう！（芝久保）について、内容というより学習内容の2日目の文章が崩れていて、意味が良く分からないので、直して欲しい。

○分館長（芝久保）

整理し、修正する。

○K委員

社会問題講座（保谷駅前）について、高齢者の単身世帯が増え、高齢の方の興味を引いてたくさん参加されると良いと思う。若い世代でも単身者が多くいるので、参加される場合もあると思う。自分の親世代について、勉強したいという子ども世代もいるかと思うので、どの目的で参加したかというのが開催後に教えていただければと思う。いろいろな目的で参加する方がいれば良いと思う。

○B委員

サークル見学体験会（谷戸）は申込が必要ということで、当日は受け入れず、申込者のみということで良いか。

○分館長（谷戸）

事前の準備もあるので、3日前までとしている。申込の件数によっては、当日申込も受け入れ可能と考えている。

○B委員

前年度も含めて、参加する方は多いという予想か。

○分館長（谷戸）

サークルからの希望が多く、是非やって欲しいとの声があり、ある程度の参加は見込んでいる。

(3)令和7年度第1回利用者懇談会について（資料4）

○事業係長

令和7年度第1回利用者懇談会については、資料のとおりである。今回は新予約システムの説明に時間がかかり、グループに分かれての懇談ができないところが多かった。ただ、柳沢は説明が終わった後に、サークルのPRやイベントの告知の時間を設けたところ、どんどん手が上がり多くの方が発言され盛り上がった。これまで実施していた参加者同士の交流の時間や、発言しやすい利用者懇談会を目標に実施していた効果を感じた。今後も参加者が話せる場となるようプログラムを工夫しながら、横のつながりや公民館との関係を作っていくと考えている。

○D委員

改めて6館の資料を読み、それぞれが独自にプログラムを立ててやっているのが分かった。それぞれの館の地域、特徴を踏まえ独自にやっているのは面白いと思うので、交流して活かしていくと良いと思う。

○B委員

次回、3月に利用者懇談会があり、日程表が出てきたところで各委員の出席をお願いしたい。柳沢公民館では最初に事業をピックアップしたものを画面で見たり、サークルの方が報告をしている。出席する審議会委員と相談しても良いのではないかと思う。

○事業係長

3月の利用者懇談会では、来年度の事業や今年度を実施した事業報告に少し時間を取りたいと考えている。

○A委員

各館の利用者懇談会の報告書を読み、委員がそれぞれの公民館に行く中で、これは利用者懇談会で公民館運営審議会として必ず伝えておこうというのを公民館と事前にすり合わせをしていただけると、良いと思う。

○B委員

参加予定の公民館と一緒に参加する委員と打合せしていただく方向で進めさせてもらえればと思う。

3 報告事項

(1) 行政報告

- 公民館長から受変電設備の改修工事に伴う臨時休館（柳沢、芝久保、谷戸）及び「西東京の教育」の11月15日号の1面で公民館が企画した2事業の紹介をした記事が掲載されたことを報告。

(2) 公民館だより編集室報告

- 市川事業係長より、11月7日開催の公民館だより編集室会議について報告。12月1日号の校正や2月1日号の一面の特集の取材などについて紹介。

(3) 令和7年度東京都公民館連絡協議会委員部会 公開研修会

- 担当委員より10月25日に開催された公開研修会の参加報告。公民館や社会教育の今後のあり方に関する話などを紹介。

(4) 第47回 全国公民館研究集会東京大会

- 担当委員より11月12日、13日に開催された研究集会の参加報告。

4 事務連絡及び情報交換

(1) 来年度事業についての意見交換

(2) 委員研修について

令和8年1月18日（日）14時から 柳沢公民館 ナトコ映画、講演会ほか

(3) その他

ア 公民館サポーター（10/26）の呼びかけを行って ★参加した委員の感想

イ 文部科学省 | 社会教育士 note ～西東京市公民館運営審議会の取組～

【特集記事】 市民と公民館をつなぐパイプ役

(4) 令和7年度第4回定例会の開催について

日時：令和8年1月28日（水）午後6時30分

場所：柳沢公民館 視聴覚室